

2020年度第11回役員会議事要録

- 1 日 時 2021年1月28日(木) 16:06～16:17
- 2 出席者 寺嶋学長, 山本理事, 角田理事, 神野理事
- 3 列席者 佐藤監事, 牧監事, 小沢事務局次長(総務・財務担当), 山内事務局次長(企画・学務担当), 黒柳事務局次長(研究支援・社会連携担当)
- 4 場 所 オンラインビデオ会議
- 5 議 題

[審議事項]

- (1) 第4期中期目標・中期計画の策定について
- (2) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等について

[報告事項]

- (1) 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について
- (2) 令和3年度予算案の内示について
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応について

6 議 事

(会議当日は, 同日開催の2020年度第4回経営協議会の資料を参照し, 議事を進めた。)

[審議事項]

- (1) 第4期中期目標・中期計画の策定について
山本理事から, 資料「審議1」に基づき, 第4期中期目標期間における本学の中期目標及び中期計画の検討状況について説明があり, 審議の結果, 7月末の文部科学省への提出期限に向け, 引き続き検討を行うことが承認された。
- (2) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等について
山本理事から, 資料「審議2」に基づき, 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等の洗い出し状況及び報告書案について説明があり, 審議の結果, 本日の会議及び会議後の経営協議会委員等からの意見を踏まえ, 報告書の最終公表案を作成し, 経営協議会委員等に事前確認の上, 本学ホームページにて公表を行うことが承認された。
主な意見等については, 次のとおり。
 - ・報告書を公表する際は, 議論の途中経過として記載している内容については誤解を生じないように整理していただきたい。また, 今後検討することとしている項目は, 毎年対応に迫われ, 苦慮することのないよう, 早々に対応方針を示しておく必要がある。
 - ・全体的な検討のプロセスは問題ないと思われる。以前開催された監事協議会では, 本件の対応により各大学の個性が失われてしまうのではないかとの懸念があったため, 本学の個性が失われないように対応することが必要と思われる。

[報告事項]

- (1) 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について
山本理事から, 資料「報告1」に基づき, 12月23日付けで国立大学法人評価委員会より通知のあった, 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について, 報告があった。

(2) 令和3年度予算案の内示について

事務局長から、資料「報告2」に基づき、令和3年度の国立大学関係予算案の概要及び本学の運営費交付金等の概要について、報告があった。

主な報告内容は次のとおり。

- ・12月21日に国立大学全体の運営費交付金予算等案の閣議決定及び予算案概要について各大学に通知があり、12月25日に本学個別の運営費交付金等にかかる一部経費についての内示があった。本学個別の全体予算については、次回会議にて報告を予定している。
- ・教育研究の基盤設備の整備における令和2年度第3次補正予算として100億円が計上され、本学ではX線高度構造解析システムが措置された。
- ・本学から現在、デジタルを利用した大学・高専教育高度化プラン、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業及び先端研究設備整備事業補助事業へ申請を行っており、引き続き状況について注視を行う。
- ・令和2年度補正予算での施設整備費実施予定計画事業として、総合研究棟（B棟）改修Ⅱ期、ライフライン再生（実験実習工場空調設備）及び基幹・環境整備（衛生対策等）の3件の事業について内示があった。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応について

学長から、資料「報告3」に基づき、新型コロナウイルス感染症への対応について、報告があった。

主な報告内容は次のとおり。

- ・前回会議以降に、本学で5名の感染者が発生し、新型コロナウイルス感染症危機対策本部室を中心に対応を行った。
- ・1月7日に緊急事態宣言が発出され、愛知県も対象地域に含まれたことから、1月14日付けで本学の活動基準レベルを全体的に2.5に引き上げ、学内の活動について強い制限を行い、感染拡大防止のための対策を行っている。
- ・年末年始の学生生活の維持等への支援のため、休学者及び研究生等を除いた学生に対し、一律5,000円の給付型奨学金の支給を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策緊急募金への同窓会からの寄附を活用し、11月24日より募集を開始した「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援金」については、1月28日の時点で3回の選考を行っており、合計27名の学生に820万円の支援を行っている。
- ・教職員及び学生を対象とした、新型コロナウイルス感染症対策に係る学内シンポジウム「ウィズ／アフターコロナ時代における本学の取組及び将来改革に向けて」の第1回目を12月17日に開催した。

以上